



平和首長会議ニュース

2021年11月 / 第143号

平和首長会議加盟都市数

165 か国・地域 8,054 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を
目指しています！**

日本国内加盟自治体数：1,734

(2021年11月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
ウェブサイトをリニューアルしました！
- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2021:作品の募集を締め切りました
～たくさんのご応募ありがとうございました！～
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 165か国・地域 8,054自治体
- ◆平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆長崎大学核兵器廃絶研究センターから:
2021年版「世界の核物質データ」ポスター解説②
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
ウェブサイトリニューアルしました！
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。

また、被爆樹木二世を活用した取組（植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など）がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード：
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_tree.html



各地で育つ被爆樹木二世の写真がたくさん載せています！

この度、平和首長会議ウェブサイトの「被爆樹木二世の苗木の配付」ページをリニューアルしました。配付の申請方法に加え、新たに配付先の自治体リストを掲載し、生育調査への回答時に頂いた生育状況を伝える写真も紹介しています。配付先の自治体において、樹木がどんな場所に植樹され、どのように活用されているか、参照できるつくりとするよう工夫しました。

全国各地で市民の皆さんの平和を願う思いと共に育つアオギリ・クスノキの姿をこのページで継続的に発信していきます。是非ご覧ください。

被爆樹木二世の苗木の配付・育成(平和首長会議ウェブサイト)
http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_tree.html

=====
**子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021:作品の募集を締め切りました
～たくさんのご応募ありがとうございました！～**
=====

平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテスト2021を実施し、作品を募集しました。

作品の募集は4月12日から11月1日まで行い、昨年を上回る世界18か国105都市の子どもたちから4,166作品の応募がありました。各加盟都市においては応募を呼び掛けていただき、誠にありがとうございました。

各都市での審査を経て、最終的に533作品が平和首長会議事務局に送付されました。これから事務局で選定を行い、結果は2022年1月17日に平和首長会議のウェブサイトで公開する予定です。



平和首長会議会長賞を受賞した作品は、平和首長会議が作製するクリアファイルのデザインとして採用し、各国大使への加盟要請や平和首長会議が主催する行事等で活用する予定です。

また、各加盟都市で実施する表彰式や展示会など、本事業に関する取組があれば、次の大府市の例のように、このメールマガジンなどで紹介しますので、是非事務局に報告をお送りください。

大府市（愛知県）からの報告

大府市では、2016年（平成28年）9月27日に行った平和都市宣言に基づき、さまざまな平和事業を実施しています。

平和首長会議主催の「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2021」では、若い世代に平和について考えてもらう機会とするため、市内小中学校の協力を得て、作品募集の呼びかけを前年より強化して行った結果、「6歳～10歳の部」・「11歳～15歳の部」の2部門で計204作品もの応募がありました。

子どもたちの平和への思いを多くの市民に知ってもらうため、全応募作品を10月3日の令和3年度大府市平和祈念戦没者追悼式にて、会場出入口の壁面に展示しました。保護者の方だけでなく、式典にご列席いただいた多くの戦没者ご遺族の方にもご覧いただき、日常の平和の大切さについて考える機会となりました。

写真提供：大府市



=====

■加盟都市の活動紹介

=====

● 広島県広島市

広島市は「世界に輝く平和のまち」の実現に向けて、「平和」への思いを共有する「文化」が市民の日常生活の中に根付くよう、毎年11月を「平和文化月間」と決めました。期間中開催される様々な「平和への思いの共有につながる取組」を通して、「平和について考え、行動してみませんか」と、市民に呼び掛けています。

この一環として、広島市と平和首長会議事務局の運営を担っている広島平和文化センターの共催により、11月3日に「市民平和文化イベント～つなぐ平和への思い、未来へ～」が開催されました。このイベントでは、広島で平和活動に取り組む若者たちや市民団体が主体となり、ステージ上や展示ブースでの発表を通して、日頃の活動を紹介したり、平和への思いを発信しました。会場には、およそ300人が訪れ、体験コーナーなどでの交流や情報交換も活発に行われました。



このイベントの他にも、11月には芸術やスポーツ等を通じた盛りだくさんな催事を集中的に開催しています。

🔗 広島市ウェブサイト「平和文化月間(11月)に各種イベントを実施します！」：
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/atomicbomb-peace/246950.html>

🔗 「平和文化月間イベントカレンダー」(広島平和文化センターウェブサイト)：
http://www.pcf.city.hiroshima.jp/hpcf/pcfpd/PCevent_calendar2021.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

今年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年-2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年-2025年)」(PDF):
http://www.mayorsforpeace.org/jp/conferences/executive/data/12th_ec/PX_Vision_Action_Plan_jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives.html>



<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、上記の行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/vision/initiatives_edu_examples.html

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

TEL:082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====

■長崎大学核兵器廃絶研究センターから： 2021年版「世界の核物質データ」ポスター解説②

=====

核兵器の製造には、高濃縮ウランまたはプルトニウムという特殊な物質が必要です。76年前の広島原爆に高濃縮ウランが、長崎原爆にプルトニウムが使われたことをご存知の方も多いでしょう。最新式の水爆では、高濃縮ウランとプルトニウムの両方が使われています。

前回紹介したように、2019年末現在、世界には、広島・長崎原爆に換算して優に11万発分以上にもなる、1,330トンの高濃縮ウランと538トンの分離プルトニウムが存在しています。今回は、この濃縮ウランとプルトニウムについて詳しく説明します。



ウランは自然界に存在する物質で、いくつかの種類があります。天然のウランは、核分裂が起きにくいウラン238が99.3%を占め、核分裂が起きやすいウラン235はわずかに0.7%です。そのままでは核分裂が起きにくいので、ウラン235の濃度を高める必要があります。この作業を「ウラン濃縮」と言います。通常の核兵器で使われているのは90%以上に濃縮されたものですが、20%以上であれば核兵器に利用できると考えられています。これを「高濃縮ウラン」と呼びます。一方、普通の原子力発電所で用いられている核燃料は、3～5%程度に濃縮したもので、「低濃縮ウラン」と呼ばれます。

他方、プルトニウムは天然には存在しない物質であり、原子炉を運転すると自動的に生成されます。この使用済み核燃料からプルトニウムを回収する方法を「再処理」と言います。通常の前処理から回収されるプルトニウムは「原子炉級プルトニウム」と呼ばれ、純度の高い「兵器級プルトニウム」に比べ、核兵器製造には適さないという意見がありますが、これは正確ではありません。原子炉級プルトニウムでも核兵器を製造することは十分に可能なのです。

🔗 『世界の核物質データ』ポスター・解説しおり
<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/fms>

🔗 長崎大学核兵器廃絶研究センターウェブサイト
<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/>

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第85回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

10月27日、日本被団協の代表委員で広島県被団協の理事長を務めた96歳の坪井直さんの訃報が届きました。20歳の時に被爆し、大やけどで生死をさまよひ、度重なる病に苦しみながら中学校長を勤め上げました。退職後に被爆者運動に加わり、国内外で過酷な被爆体験を語り続けました。坪井さんと出会って座右の銘の「不撓不屈」「ネバーギブアップ」の言葉を掛けられて、こちらの方が励まされた、という人は少なくなかったと思います。

坪井さんがぶれずに訴え続けた核兵器禁止条約の実現と核兵器廃絶の実現は、道半ばです。条約は今年1月、ついに発効しましたが、核兵器を持つ国や日本のように同盟国の核抑止力に頼る国々の加盟は到底見通せません。反核のバトンを引き継ぐ責任が若い世代にはあります。

俳優のサヘル・ローズさんは、「平和文化月間」で講演するため広島市を訪れた機会に、廿日市市のバラ育種家で被爆者の田頭数蔵さん(92)を訪ねました。田頭さんが核兵器廃絶への願いを込めて作出した品種「アイキャン(ICAN)」を、サヘルさんは大切に育てています。このたび初対面がかない、平和への思いを語り合いました。生の体験証言を聞く。原爆資料館で学ぶ。被爆者が込めた「思い」を受け止める。高齢の被爆者からバトンを引き継ぐために、できることはさまざまです。

関連記事は次のアドレスで読めます。

[ヒロシマの空白 被爆76年] 「親に会いたい」 原爆孤児の生涯 田中さん 紙芝居に
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=110614>

「核禁条約署名を」77.4% 日本被団協 国会議員703人アンケート 回答率は3割 首相も答えず
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=110829>

[ヒロシマの空白 被爆76年] 供養塔遺骨 やっと帰宅 本紙取材で身元判明 85歳の孫、涙
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=111332>

坪井直さん死去 広島で被爆 核廃絶へ力 96歳 日本被団協代表委員
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=111530>

評伝 坪井直さん 非核を願い世界駆ける 未来へバトンつなぐ
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=111534>

箕牧さん 新理事長に 坪井さんを追悼 広島県被団協が総会
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=111785>

サヘルさん 廿日市のバラ園へ 育種家田頭さんと平和語る 核廃絶願い名付けられた「アイキャン」育成
<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=111860>

=====
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」
について**
=====

核兵器禁止条約は今年1月22日に発効し、現在56か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

🔗 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/data/2021/syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町 1-5
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452
Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.mayorsforpeace.org/jp/statements/newsflash.html>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉 
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉 
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！